

2010年8月5日(木)

翠会ヘルスケアグループ本部通信 (vol. 22)

今月の TOPICS

～ 看護職採用コスト分析報告会 ～

(本部長 青山 一夫)

標記報告会が7月20日、成増高等看護学校で13時30分から15時30分までの2時間、理事長、精神医学研究所長、関東地区の各病院・施設の事務長、看護部長の関係者が出席し、開催されました。また、翠会グループとして共通認識を持ち協力して頂くために九州の行橋記念病院の永尾看護部長、八幡厚生病院の岩下看護部長にも出席をして頂きました。

ご存知のように、特に関東地区は看護師が不足しその確保に苦勞しています。看護師が充足していなければ、施設基準も維持できなくなり、医業収益にも影響します。この対策のため2年ほど前から、毎月1回「看護師等確保会議」が開催されています。

また、成増高等看護学校は入学希望者が減少し、受験者の質の低下等による定員割れが生じ、翠会グループの病院での働く割合も減少しています。このため看護学校がこのままでいいのか、近い将来はどうするのかを協議するために「看護学校運営協議会」が1年半前から開催されています。

私が4月1日から赴任して何回か両会議にでましたが、あまり実効性のあるように思えませんでしたので、議論するためのまとまった情報・資料の必要性を感じました。そこで2年あまり統括部長として翠会の経営に携わった北川顧問に「看護学校を中心にした看護職の採用コストに関する現状分析と妥当性の検証」についての提言を委託しました。その報告書の説明を北川顧問からパワーポイントを使用しながら、現状分析①「看護職の動向」、現状分析②「翠会グループ(関東地区)における看護職採用の現状」続いて、看護職採用に関する提言「成増高等看護学校の今後のあり方」、「新卒者採用ルートの整備」、「既存職員の積極活用」等の貴重な提言を頂きました。

出席者も今まで漠然とわかっていたことが頭の中で整理されたと思います。この提言をどのように生かしていくか近々、関係者を集めて検討会を開催したいと思います。